

令和5年度 神戸市



# 障害者施設職員スキルアップ研修

～障害者施設における福祉援助職の「可能性」を考える～

## 【趣 旨】

障害者施設の支援現場において、中心的役割を期待される概ね職員2～5年目職員を対象に、障害者施設における支援に関する知識・技術について学ぶとともに、受講者間の相互の学びあい、情報交換等を積極的に行い、施設を越えた関係づくりを進めることにより、現職場での障害者支援の仕事への意欲を高め、かつ、障害者支援現場の活性化を図ることを目指す。

## 【研修概要】

- 講義、個別・グループ演習、事例検討等を通して、障害者施設における支援に関する知識・技術を学ぶ。  
（「社会福祉の視点」「福祉援助職の価値・倫理」「意思決定支援」「働きやすい・利用したい施設」「障害者虐待」等についての理解を深める。）
- 各プログラムにて、個別・グループ演習等、情報交換等を積極的に行える関係づくりの機会を設ける。

【日 程】 2日間 | コース

令和6年 2月 13日(火) 9:30～17:00

14日(水) 9:30～17:30

※昼休憩 | 時間含む



【会 場】 こうべ市民福祉交流センター 201 教室（所在地：中央区磯上通 3-1-32）

【受講対象者】 次の①②を満たす方

- ①市内の障害者施設（神戸市知的障害者施設連盟・神戸市身体障害者施設連盟・神戸市精神障害者社会復帰施設連盟・各加盟施設）で実務を行う支援職員であり、現在の勤務先で職務経験年数が、概ね2年から5年程度の方
- ②全2日間の研修に出席できる方

【講 師】 武庫川女子大学心理・社会福祉学部 教授 與那嶺 司 氏

関西福祉大学社会福祉学部 教授 岡崎 幸友 氏

【参加費】 無料

【募集人員】 40名（申込多数の場合、抽選）

【申込方法】 各施設・事業所の所属長・責任者の許可を得た上で、市民福祉大学ホームページ(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp>)より  
令和6年 1月31日(水)までに、お申込みください。



**【受講決定】** 受講の可否は、2月2日(金)頃にEメールにてお知らせします。

**【事前課題】** ・事前課題として支援事例を提出いただきます。

『困っている支援事例』をA4用紙半分～1枚程度(2日目のグループ・ディスカッションで使用)

**※1月31日(水)までに、市民福祉大学へEメールにてデータをご送付ください。**

・受講申込書に記載された個人情報、研修運営の目的にのみ使用します。

なお、本研修の受講者名簿に氏名・所属施設名を記載し、受講者に配布します。



**【研修プログラム】** ※プログラムは多少変更することがあります。

### 1日目

9:30～10:10 オリエンテーション・自己紹介

10:10～11:50 ①個人・グループ演習 自分の価値観とその背景を考える

昼休憩(60分)

12:50～13:50 ②講義 社会福祉援助の視点とは

休憩

14:00～15:00 ③講義 福祉援助職に求められる価値・倫理

休憩

15:10～16:00 ④講義とミニ演習 障害者の意思決定とその支援(1)

休憩

16:10～17:00 ⑤講義とミニ演習 障害者の意思決定とその支援(2)



### 2日目

9:30～10:30 ⑥講義 「障害者福祉における価値：ノーマライゼーション」

休憩

10:40～11:50 ⑦演習 「障害のある人の『ふつうの暮らし』を考える」

(KJ法を活用したグループ活動)

昼休憩(60分)

12:50～14:10 ⑧演習 「福祉専門職にとって『働きやすい職場環境づくり』を考える」

(ワールドカフェを活用したグループ活動)

休憩

14:20～15:10 ⑨講義 「障害のある人への虐待をどう防ぐか：障害者虐待防止法の基礎知識」

休憩

15:20～17:10 ⑩演習 「障害者施設における福祉援助職の『可能性』とは：事例検討を通して

「学び」を整理する」(グループ・ディスカッション)

17:10～17:30 まとめ



**【主催】** 神戸市・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

**【お申込み・お問い合わせ先】**

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学 (担当：高谷・松尾)

住所：神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター内

電話：078-271-5300 FAX：078-271-5365 E-mail：daigaku@with-kobe.or.jp

